

令和8年3月定例会会議録

(令和8年3月25日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 3月定例会会議録

- 【開催日】 令和8年3月25日（水）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 中 勇 二 教育長
渡 邊 裕 一 教育委員
澤 村 互 寛 教育委員
早 田 蛭 教育委員
丸 山 智 子 教育委員
- 【出席職員】 田 中 智 樹 教育部長
鋤 田 敦 信 教育部次長
下 津 恵 美 教育部次長
押 方 佐地子 教育政策課長
加 賀 真 一 学校教育課長
稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長
泉 宜 孝 生涯学習課長
中 村 裕 一 教育サポートセンター副所長
田 島 良 洋 博物館未来の森ミュージアム副館長
植 田 浩 之 未来の学校づくり推進室長
坂 川 純 絵 学校教育課教育支援係長
- 【事務局】 池 田 拓 次 教育政策課主幹兼教育政策係長
浦 本 美代子 教育政策課参事

（審議事項）

<議案案件>

- ① 八市教委議第8号
熊本県八代市立学校管理規則の一部改正について
- ② 八市教委議第9号
八代市立学校再編等基本方針（案）及びパブリックコメントについて
- ③ 八市教委議第10号
第2期EdTech推進計画（案）について

<協議案件>

- ① 協議第3号
第2期八代市特別支援教育推進計画（案）について

<報告案件>

- ① 報告第2号
八代市議会令和8年3月定例会について
- ② 報告第3号
令和7年度3月補正予算の概要について
- ③ 報告第4号

令和8年度当初予算の概要について

1. 開会 (午後2時02分 開会)
2. 会議録承認 令和8年1月定例会
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告
4. 議題

<八市教委議第8号> 熊本県八代市立学校管理規則の一部改正について

加賀学校教育課長 学校教育法の一部改正により、学校の教育活動に関し教職員間の総合的な調整を行う「主務教諭」を置くことができるとされたため、新たに追加するもの。

渡邊教育委員 主務教諭については、指導教諭と同じように管内に数名が特別に配置されるという扱いだろうか。

加賀学校教育課長 今後、数名が配置されるものと考えている。ただし、どのような配置になるのかについては、県のほうでも検討中ということである。指導教諭については、県がこの先生が指導教諭なので配置してくださいと示される。主務教諭のポジションが、主幹教諭と教諭の中間的なポストとなるので、おそらく指導教諭に近いかたちで配置されるのではないかと考えている。

澤村教育委員 校務の調整役ということで、働き方改革のひとつであるのではないかと考える。実際、今年度の配置はないということだが、どのような業務を行うのだろうか。

加賀学校教育課長 大量退職により、ミドルリーダーの層が薄くなるということもあり、人材育成を行う役職として考えているようだ。主な仕事としては、若手の教員に対する指導・助言、学年や各校務分掌のリーダー的な役割、管理職の補佐的な部分もあるようだ。

【八市教委議第8号 承認】

<八市教委議第9号> 八代市立学校再編等基本方針（案）及び同パブリックコメントについて

植田未来の学校づ 八代市立学校再編等基本方針を策定し、合わせてパブリック

- くり推進室長 クコメントの結果を公表するものである。資料により説明。
- 早田教育委員 意見の件数が48件、14人が回答されたということであるが、一人で複数の意見があったということだろうか。
- 植田未来の学校づくり推進室長 結果については、項目を分けて24件にまとめている。お一人の方の意見で、いくつかの項目に分別ができたため、そこで同種の分別をした。複数の方から同様の意見があったため、集約して48件を24件にまとめたものである。
- 早田教育委員 パブリックコメントは14人の方からいただいたということだろうか。
- 植田未来の学校づくり推進室長 そうである。14人からいただいたが、お一人の方から様々なお意見をいただいたということである。
- 早田教育委員 ほかのパブリックコメントの募集に比べると、意見が多いように思った。市民の方々が、学校再編に興味を持ってくださっているということなのだろうと改めて感じた。この結果を受け、教育委員会として、市としてどのように感じられたか、内部でどのような検討が行われたかを伺いたい。
- 植田未来の学校づくり推進室長 推進室としては、様々なお意見があり、幅広いご意見をいただいたと思っている。中には全体的なことから、ページの細かい部分までご指摘をいただいた内容もあった。これについては、できる限り基本方針に記載している内容をベースに、丁寧に記載した。受け取りとしては、教育長、部・次長を含め、様々な幅の広いご意見をいただいたということ、多くの方から意見をいただいたということをお話した。また、地域が特定されるようなご意見が固まって出ていた。関心が高い地域があるということをお話した。今の時点で把握することができたので、来年度に活かしたい。
- 渡邊教育委員 たくさんの意見があつて良かったと思った。例えば、「八代はひとつ」の記述についての回答を見ると、そのとおりであり、私にとってはよく理解できる丁寧な回答だと思った。しかし、市民の皆さまに「八代はひとつ」というのをイメージしてもらうのは簡単ではないと思う。懇談会の中でもしっかり説明を尽くしていく必要があると思ったところである。
気付きであるが、「反映」という欄があり、方針案の修正を行う場合は丸を付けるということであるかと思うが、一つもなかったということは、公表した際に大丈夫なのだろうかということが気になった。

植田未来の学校づくり推進室長

「反映」の点についてであるが、当初、48件のご意見について、一つ一つ回答を作成していたが、基本方針をベースに捉えたとき、基本方針が広く包含した表現をしていることから、個別具体的にご意見があるものの、基本方針の文言自体を修正するまでではないと判断した。表現について、この表現は違うのではないかと、こう表現してほしいなどのご意見であれば、より「反映」に近づいたのではないかとと思うが、今回のパブリックコメントの結果については、いただいたご意見は基本方針のどの部分かを説明することができると捉えた。

田中教育部長

教育委員会としては、方針を策定するところであるが、市民の方々にとっては、この先のステップの計画という具体的な話と捉えている方もいらっしゃる。また、自分の思いを記載された方もいらっしゃる。市が示す再編の方針については、今回いただいたご意見が全て含まれていると理解した。意見は、小規模校がある地域からのご意見がほとんどであった。第一中や第二中など大規模の学校がある地域からの意見は皆無であった。想定はしていたが、今回、我々が示した方針案については、いただいたご意見は含まれているという判断で「反映」までには至らなかったということである。次のステップの再編計画では、いただいたご意見も考慮しながら進めていきたいという思いである。

丸山教育委員

「反映」の欄は必要なものであるか。

田中教育部長

この様式は市で統一された様式である。

丸山教育委員

必ずしも修正を求める意見が出るわけではなく、市民の皆さまのご意見を聞くためのパブリックコメントであるため、基本方針という段階で、「反映」という欄が必要なのだろうかと思った。統一様式ということであれば、この「反映」はどういうものかということに記載しておいてはどうだろうか。

学校再編の方向性について、いくつか意見が出ている中、まとめて本市の考え方として示してあるが、「学校を管理するという立場ではなく」という意図が分かりにくいように思う。また、小規模校がある地域からの切実なご意見に対しての回答が少しあっさりしすぎているのではないかと。市の思いとして、管理運営上の課題への対応だけではなく、子供たちの教育を重視して考えているということをお願いしたいのではないかとと思うが、計画名を載せるだけではなく、もう少し言葉を足してもいいのではないかと。

植田未来の学校づくり推進室長

今のご意見を踏まえ、もう少し丁寧に追記したい。

くり推進室長

中教育長

修正した内容については、教育委員の皆さまにお知らせしたい。ご意見に対して反映した箇所がないことについては、どういうことだということにもなり得るので、今回いただいたご意見は、基本方針に網羅しているので修正がないということ注釈で記載したい。

早田教育委員

これだけ意見が出されているのに、反映が一つもなされないことは気になった。パブリックコメントは、市が策定した計画などに対して意見をいただくものであるが、これだけ意見がありながら、一つも反映されないということはどう受け取られるかということを感じた。

田中教育部長

確かに、これだけ意見があるのに何も反映されていないと思われるだろう。一つ一つの意見を見ると、思いが伝わってくるものばかりである。注釈を入れるなど、工夫したい。

中教育長

方針の中では、いただいたご意見が含まれているので反映なしということであるが、計画を策定するときに参考にさせていただきますというように、ご提案をいただいた方に寄り添ったコメントを入れてはどうだろうか。

【八市教委議第9号 承認】

<八市教委議第10号> 第2期八代市EdTech推進計画(案)について

押方教育政策課長

令和8年度から令和11年度を計画期間とする第2期八代市EdTech推進計画を策定するものである。
資料により説明

丸山教育委員

情報モラル教育について、修正前には記載のあった多要素認証等のセキュリティ対策強化の文言については、第2期の計画では記載がないのだろうか。

押方教育政策課長

多要素認証等のセキュリティ対策強化については、第2期計画では、環境の整備で位置づけをしている。主な施策3の個人情報の保護・情報セキュリティ対策の強化の取組の一つとして掲げている。

渡邊教育委員

全体的に大変よくできている計画であると思う。策定の際に参考にしたひな形などがあるのだろうか。

押方教育政策課長

国、県の情報化の推進計画を参酌することとなっているた

め、ずれがないように参考にした。また、本市の現状の課題を押さえた上で何に取り組むかを、学校教育課、教育サポートセンターとしっかり協議した。

澤村教育委員

目標のところに、学びの変革イメージとして第1期計画から第2期計画に移るところが拡大期としてあり、今はちょうど拡大期の真ん中の時期であると捉えて良いと思う。学校訪問等で、学校が実際、どれだけ活用できているのかを見てみて、令和8年度に入る時点は拡大期の真ん中であるので、50%くらいはできているという捉え方になっているのか、あと4年後には当たり前というところまで進めていけるのかという点が、非常に難しいところではないかと思う。計画においては、段階的に目標を定めなければならないが、現実的な捉え方として、現状が拡大期の真ん中まで到達しているという認識についてはいかがだろうか。

押方教育政策課長

国が令和元年度にGIGAスクール構想を打ち出してから年数も経過しているが、現状としては、学校間、教員間で活用に差がある。まずは、この格差を解消していくことが必要であると感じている。子供たちが文房具として当たり前の状況にするのは、次期の学習指導要領の国の議論においても、デジタル学習基盤ということで前提にして議論が進められており、待ったなしの状況であると認識している。この計画の進捗については、成果指標を設定しているので、年度ごとに進捗を確認、評価を行い、取組の振り返りとしていきたい。

澤村教育委員

デジタル化は進む一方であると思う。もちろん、アナログ的なものが全てなくなるとは思わないが、いかにバランスを取ってデジタル化に対応できるような子供たちを育てていくかということが、これからの教育には大事であると思う。学校間、教師間の格差があるので、それをいかに埋めていくかについては苦心されていると思うが、先進的な取組で成功した事例もあるので、八代市も充実すると良いと思っている。よろしくお願ひしたい。

田中教育部長

当初の計画では、次のステップまで進んでいるところであった。来年度は最初に配付したタブレットの更新時期であり、予算を計上している中で、第1期の計画では、普及の時期に入っていなければならなかった。今回の計画策定において本市の状況を見直したとき、まだ拡大期であると捉えた。それを理解しながら、加速度的に進めていかなければならないという思いで今回の計画を策定した。

中教育長

当時は振り返ると、令和元年度に国のGIGAスクール構

想で、一人一台のタブレットを目指すということが打ち出された時には、それが実現するのは一体いつになるのだろうかという状況であったのが実状である。令和2年度のコロナ対策により、国が交付金を出したので、全国的に進んだのだが、国が打ち出した構想を市としてどう進めていくかという計画がない状態で、一人一台のタブレットが入った。令和3年度に計画を策定し、令和4年度からスタートした。計画を策定した時の反省点として、計画を作って安心して、学校にこれが浸透していなかったということがうまく拡大していかなかった要因の一つではないかと思う。今回、4年間の計画を策定したので、学校現場にしっかり周知を図り、本市の現在地点を十分分かってもらい、何に取り組むべきかをしっかり学校現場に届けていく必要があると思っている。まずは現状を学校現場に認識してもらわないと、先に進むことはないのではないかと思っている。事務局においては、その点に気を付けて進めていただきたい。

【八市教委議第10号 承認】

<協議第3号> 第2期八代市特別支援教育推進計画（案）について

加賀学校教育課長 令和8年度から令和11年度までの期間について、第2期八代市特別支援教育推進計画を策定するにあたり、意見を伺うもの。資料により説明

早田教育委員 特別支援学校の巡回相談を活用した学校の50%の目標とは、どういうことだろうか。

加賀学校教育課長 支援の段階があり、まずは校内の支援委員会で対象の子供について検討し、それが難しい場合は、各グループとの相談となる。さらに専門的な相談が必要な場合は、八代支援学校や鏡わかあゆ高等支援学校などの支援学校に配置された専門性を持ったコーディネーターを活用してほしいということである。段階的な相談支援体制をしっかりと活用するようにということである。

早田教育委員 そこを活用した学校が全体の50%ということで良いか。

加賀学校教育課長 そうである。

中教育長 段階的な相談支援体制のイメージ図がなかつたらどうか。

加賀学校教育課長 県で作成したものがあるが、今回の資料には添付していない。

- 澤村教育委員 一人一台端末の利用について、目標値が50%としてある。学校訪問で、特別支援学級でタブレットを使って意欲的に学習に参加している授業を見たことがあり、少しずつ活用されているのだと思った。この目標値は、例えば一つの学校で、端末を使った授業を1学級していればその学校は達成とするのか、いくつかある学級全てが何らか活用していれば達成とするのか、いかがだろうか。
- 坂川学校教育課教育支援係長 この端末というのは、障がいの状態や特性等に応じた合理的配慮を基盤とした端末である。このような端末を用いた場合の目標値である。
- 澤村教育委員 障がいの特性というのがあるので、ICTを活用したほうが教育的な効果が上がる面もあると思う。できれば、担任の先生方も障がいに応じたICTの使い方を学んで、活用されると、より効果も上がり、自分の授業もやりがいのあるものになるのではないか。数値も50%以上に上がると良いかと思う。
- 加賀学校教育課長 どのようにしたら学校が必要とする端末の活用がなされるのか、課内で確認をしたい。
- 中教育長 確認と目標値の設定のしかたについては、よろしくお願ひしたい。
- 渡邊教育委員 この推進計画はとても大事なものであり、第1期の計画を策定されるときも大変なご苦労があったかと思う。第1期と第2期の計画のおおまかな流れとしては、ほぼ同じと捉えてよろしいか。大きく変わった部分があるだろうか。
- 加賀学校教育課長 大きな取組としては、ほぼ変わっていない。細かい文言等、こだわる部分は大事にしていきたい。
- 丸山教育委員 本文について、分かりにくい言葉等は用語解説が詳しく記載されており、大変分かりやすくて良いと思う。概要版については、今後、活用される予定があるのだろうか。もし活用されるのであれば、せつかく新たに主要な目標値が設定されているので、現状値が記載されると分かりやすいかと思うがいかがだろうか。
- 加賀学校教育課長 概要版については、この計画がどういうものか、先生方にも一目で分かるので、周知するためのアピールの材料として活用したいと考える。現状値については、反映できるように

したい。

<報告第2号> 八代市議会令和8年3月定例会について

田中教育部長

八代市議会令和8年3月定例会において、7人の議員から次の9件の質問があった。資料により説明

① 堀口 晃 議員

・八代市花いっぱい条例の実効性について

② 橋本 隆一 議員

・本市小学校における平和に関する教育の状況について

③ 山本 敬晃 議員

・八代市二十歳の集いについて

④ 水田 千春 議員

・八代市における学校給食の食材について

⑤ 西 和明 議員

・本市小学校における熱中症対策及び給水機設置について

⑥ 西村 英昭 議員

・学校給食費負担軽減事業について

・小中学校教職員の働き方改革及び業務負担軽減について

・不登校児童生徒に対する教育支援事業について

⑦ 永江 恵子 議員

・本市の教育行政について

丸山教育委員

平和教育に関する答弁の中で、一部の中学校が広島県を訪問しているということであるが、広島県に行かない学校があるのだろうか。

田中教育部長

ほとんどの学校が行っていない。広島県を訪問しているのは1校だけである。議員からは、平和教育の中で、いじめや差別につながるということをしっかり伝えてほしいということだったので、平和教育を通して、いじめや差別を許さない態度の育成、人権を尊重する意識の高まりにつなげているということを答えた。

<報告第3号> 令和7年度3月補正予算の概要について

教育部次長

本年度をもって早期退職をする職員分の退職手当の不足額及び学校給食会職員93名分の人事院勧告に準ずる給与改定による不足額を補正するもの。

資料により説明

質問等なし

<報告第4号> 令和8年度当初予算の概要について

下津教育部次長 3月23日に可決された主なものについて資料により説明

- I C T授業サポート事業
- 不登校児童生徒の教育支援事業
- 学校等管理運営事業（小・中・特別支援学校・幼稚園）
- 学校通学関係事業（小・中・特別支援学校）
- 学校教材充実事業（小・中・特別支援学校）
- I C T教育推進事業（小・中・特別支援学校・幼稚園）
- 学校給食施設管理運営事業（単独調理校）
- 学校給食費負担軽減事業
- 学校給食費負担軽減事業（重点交付金）
- 八竜山自然公園管理運営事業
- 博物館特別展覧会事業

渡邊教育委員 構成比が10.68ということで、ご苦労が多かったのではないかと思う。予算要求において厳しい状況はあったのだろうか。ほぼ要求どおりだったのだろうか。

下津教育部次長 市長査定で復活したものが2件あった。給食費負担軽減についてと英検受験料の補助についてである。英検受験料については、中学1・2年生は今年度並みの半額補助という内示であったが、市長査定で要求どおりの全額補助となった。対象者の30%分について予算を計上した。文教福祉委員会で質問があったが、中学1・2年生については全額補助となったが、受験させられるのではなく、向上心を持って自ら受験する気持ちを持たせるためにも小学校からの連携をしっかりとるようにということだった。

渡邊教育委員 英検については、学校の先生方にはこのように苦労して予算化しているということを説明して分かってほしいと思ったところである。

お尋ねであるが、エアコンについて、単独調理校に対して予算が計上されたのは良かったと思う。これは新規設置ということだろうか。また、学校運営事業でエアコン購入経費が小・中学校に計上されているが、まだエアコンが設置されていない教室が多くあるということだろうか。

押方教育政策課長 単独調理校のエアコン設置は新設である。また、1校については八竜小学校から移設する予定としている。学校のエアコンについては、教育政策課が所管するもので、職員室や事務室などの管理者室のエアコンについてである。設置から20年以上経過しているものが大半であり、計画的に更新をしているところである。最近では職員室のエアコンの故障が多発しており、計画的に予算を確保し、更新をしている状況である。

る。

田中教育部長

単独調理校について、八竜小と坂本中はそれぞれ単独で給食を調理しているところであるが、生徒数の減少により、かなり効率が悪くなっている。設備が少人数に対応できない状況になっている。令和8年度からは、坂本中学校で調理し、八竜小学校に配送することを地元にも説明をしている。また、教室のエアコンであるが、普通教室には全て設置しているが、特別教室については100%ではない。これについても順次設置していきたい。

先の説明にはなかったが、新年度から3年間で教室の照明のLED化を進めていく。今年度、体育館の照明については全ての学校でLED化を行った。新年度からは小・中学校全ての教室の照明のLED化を行う。これについては、市の脱炭素の観点から環境の関係で予算化しているため、教育費で予算化しているものではない。市内の公共施設ということで、まずは学校の照明からLED化に取り組むことでスタートしている。また、教職員のメンタルヘルスの関係で、養護教諭を1名、学校教育課内に配置し、市内の学校の先生を全て網羅するかたちでメンタル面でのサポートをしていただく。合わせて、働き方改革の面もあるが、中学校部活動の地域移行に関して、退職校長を1名、任期付職員として学校教育課に配置する。4月2日から採用し、3年間の任期とし、中学校部活動の地域展開を加速させていきたい。

5. 連絡事項

学校教育課 市校長連絡会議 (4/1 14:30~)
小・中・特別支援学校 始業式 (4/8)
小・中・特別支援学校 入学式 (4/9)
幼稚園 開園式・入園式・始業式 (4/10)
市新規採用教職員宣誓式 (4/13)
市学力調査 (4/20~5/1)
生涯学習課 キッズチャレンジ 2026「こども陶芸教室」
(4/29)
春の図書館まつり (4/23~5/12)
教育サポートセンター
「くま川教室」開級式 (4/17)
博物館 再開館プレオープン (4/24)
再開館記念式典 (5/1 9:00~)
再開館記念特別展覧会 (5/1~6/14)
事務局 4月定例会 (4/24 15:30~)

6. 会議録署名委員の指名

澤村委員・早田委員

7. 閉会

(午後4時13分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
